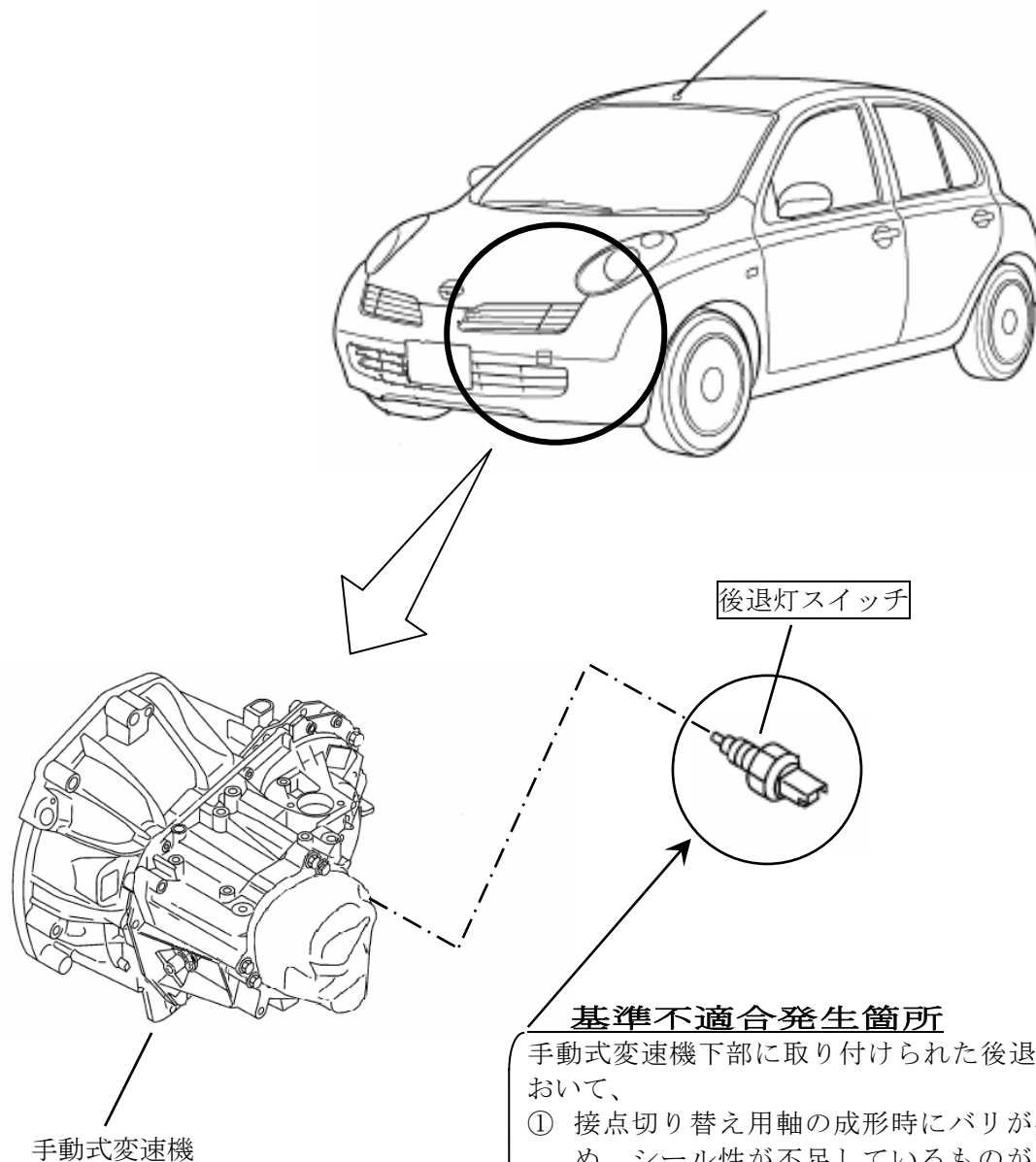


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

手動式変速機下部に取り付けられた後退灯スイッチにおいて、

- ① 接点切り替え用軸の成形時にバリが残っていたため、シール性が不足しているものがある。そのため、変速機内の潤滑油がスイッチ内部に侵入して接点間の抵抗が増大し、最悪の場合、後退灯が点灯しないおそれがある。
- ② 製造時の組み付けが不適切なため、接点の形状が変形し、接点間の接触圧力が不足しているものがある。そのため、アーク放電により接点が早期に摩耗し、摩耗が進行すると、最悪の場合、後退灯が点灯しないおそれがある。

改善の内容

全車両、当該後退灯スイッチを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。